



国民春闘共闘

第12号
2019年2月4日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2019年国民春闘勝利！総決起集会

1組合員1行動で19国民春闘を勝利しよう！

国民春闘共闘委員会・東京春闘共闘会議は1月31日、杉並公会堂大ホールにて「2019年国民春闘勝利！1・30総決起集会」を開催し、産別や地域などから850人の参加で成功しました。

主催者あいさつに立った東京春闘共闘会議の荻原淳代表（国民春闘代表幹事）は、「2019年は、安倍



9条改憲を阻止する闘い、安倍政権を退陣させ政治を変える闘いがいよいよ正念場です。3000万人署名を職場と地域でいっそう推進し、自民党など改憲勢力の野望を打ち破る闘いに全力を挙げ、改憲を許さない圧倒的な国民の意思を示しましょう。アメリカ言いなり、財界大企業中心で国民犠牲の安倍暴走政治を、根本から変えるため、市民と野党の共同、立憲野党の共闘を大きく前進させ、4月の統一地方選、7月の参院選で勝利し、安倍政権退陣をみんなの力

で実現しよう。職場学習・総対話、要求討議、要求書提出と交渉、スト権確立、旺盛な教宣活動など、労働組合への信頼と結集を強め、すべての組合員参加で職場から全国・全都の統一闘争に決起すれば、勝利できる展望は十分あります。労働組合の組織強化と組合員拡大を追求しながら、職場と地域で要求闘争を強めましょう。みんなで練り上げた要求に確信を持ち実現へ執念をもって取り組みましょう。非正規の仲間の組合加入、賃金、権利向上の闘いを正規・非正規の共同で前進させましょう。民間・公務の仲間が一体の運動で築いた到達を力に、組合員要求と国民的要求、ともに実現をめざし、19国民春闘、全力でたたかい抜きましょう。組合員の団結、すべての働く仲間の連帯と共同、統一闘争への総決起」を呼びかけました。

続いて、野村幸裕事務局長（全労連事務局長）による「映像と基調報告『19春闘をどうたたかうか』」を行い、この間のたたかひの映像を交えながら、「職場と地域のクロスオーバー」が重要性和強調。「1組合員1行動」に立ち上がることを呼びかけました。

各組織のたたかひの報告では、JMITU 南部地区協議会、全農協労連東京地本中央支部、首都圏大学非常勤講師組合、全教、自交総連東京地連、三多摩労連、女性部・女性センター、東京土建の8組織から発言がありました。「アンケートや一言メッセージをすすめ職場で働くすべての仲間とつながっていききたい」(JMITU 南部地区協議会)、「日本の食料を支える家族的農業と農協の分断を図る農協つぶし・農政改革に地域の仲間とたたかう」(全農協労連)、「この間のたたかひで、首都圏の大学では非常勤講師の有期雇用5年上限はほぼなくなった。



引き続き、賃上げや労契法特例条項の撤廃などを求めてたたかひ続ける」(首都圏大学非常勤講師組合)、「臨教審による教職員の長時間・過密労働の隠ぺいではなく、地域や父母とともに教職員を増員させ、豊かな教育を実現したい」(全教)、「この間のたたかひでライドシェア＝白タク合法化を阻止してきた。安心安全のタクシーを守るため奮闘したい」(自交総連東京地連)、「最賃運動は地域に労働組合の存在をアピールできる。議会請願に力を入れて取り組む」(三多摩労連)、「うそつきは戦争の始まり。セクハラ容認の政治家に大臣の資格はない！職場も政治も変えよう！」(全労連女性部・東京地評女性センター)、「丸の内ビル建設の非人道的で過酷な現場を、労働者の声をあつめ国・元受け交渉で改善させた。オリンピック開催に不可欠な建設労働者にふさわしい賃金を勝ち取りたい」(東京土建)と発言が続きました。

東京医労連の池田タツ子さんによる集会アピール(後掲)提案を会場の拍手で確認した後、松森陽一東京春闘共闘会議副代表が、「組織拡大をすすめよう、組合の後継者をつくっていこう。2月は、職場地域で賃上げの世論を形成し、3月期は、先行組合を皮切りにたたかひを上げよう。4月には東京段階で独自集会を配置しながら、最低賃金1,500円の声を上げ、8時間はたらけば人間らしく暮らせる社会を実現しよう。」と行動提起を行いました。

最後に、小田川義和代表幹事が閉会挨拶を行い、「各団体から、工夫も凝らした決意表明をいただきました。発言に共通していたのは、要求作り・要求実現の行動・交渉まで、全員参加で要求にこだわり、すべての労働者に目を向けてたたかう決意がみなぎる内容だったと確認したいと思います。

政府や財界が言うほどには、景気回復の雫は私たちには届いていない、「働き方改革」の旗を政府や財界が振れば振るほど、職場の労働実態は厳しくなる、人手不足は深刻化する一方、地域の経済も中小企業も青色吐息。暮らし、労働の実態をふまえた、仲間の思い、怒りは、高まっています。働き方、くらしの実態の厳しさに加え、病人に氷水をタライでかけるような政治の酷さに、さらに怒りを高めています。

国民いじめの一方で、大企業への富の集中や、企業の新たな儲けの場づくりだけを進める政治が、私たちの要求実現の最大の障害物、はっきりしたのではないのでしょうか。

春闘での要求討議を通じ、安倍政治の労働者いじめを語り、平和と民主主義破壊を語り、政治を変える絶好のチャンス、選挙の年の取り組みと一体で、春闘を闘い抜きましょう。

この決起集会の熱気と成果を職場と地域に持ち帰っていただき、明日から、2019年春闘を全力で闘いましょう」と呼びかけ、団結ガンパローで集会を締めました。



**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**

集会アピール

本日、国民春闘共闘委員会と東京春闘共闘会議は、「2019年国民春闘勝利！1.30総決起集会」を開催し、総力をあげて19国民春闘をたたかい抜く決意を固めました。

労働者の実質賃金は6年連続で低下しています。大企業と富裕層だけが利益を増やすアベノミクスの破たんは明白です。拡大し続ける格差をなくすこと、不安定雇用と貧困を解消することは急務です。今こそ賃金の大幅引き上げ、底上げを実現し、労働者の暮らしを大きく向上させましょう。月額25,000円以上、時間額150円以上の大幅賃上げを求め、最低賃金はただちに1,000円以上、東京では早期に1,500円の実現をめざしましょう。社会的な賃金闘争を職場と地域が一体となって推進することが必要です。最低賃金の抜本的改善、全国一律最賃制度の実現、公契約労働者の賃金引き上げ、公務員賃金引き上げを求め、奮闘しましょう。

すべての労働者の切実な要求を実現するために、職場アンケートと要求討議、要求書提出とスト権確立、行動への参加を職場から強め、正規・非正規のすべての組合員が力を合わせてたたかきましょう。地域に足を踏み出し、住民や地域の働く仲間、団体との共同により地域総行動を大きく展開し、単産と地域の統一行動、民間と公務の共同行動を大きく発展させましょう。

2019年国民春闘は、国民的な課題でなんとしても前進が必要です。

安倍9条改憲は絶対許すわけにいきません。通常国会で狙われる改憲の国会発議、共同・共闘を広げ、3000万人署名達成で必ずとめましょう。軍備拡大に反対し、戦争法の具体化を許さず、オスプレイの危険な訓練中止と配備撤回を求めましょう。安倍首相の「戦争する国」への野望を、みんなの力で打ち砕こうではありませんか。

核兵器の違法化・禁止へ世界は力強く進んでいます。日本政府に核兵器禁止条約賛成と批准を強く求め、唯一の戦争被爆国として責任を果たさせましょう。

国民多数の要求・願いを安倍政権は踏みにじり続けています。こんなことをいつまでも続けさせるわけにはいきません。消費の低迷に追い打ちをかける消費税10%への増税、社会保障の解体、辺野古の米軍新基地建設、原発再稼働など、安倍政権の暴走を総力を挙げて阻止しましょう。

二つの選挙で勝利し、安倍政権の退陣を実現しましょう。

安倍政権と財界は、労働者にも多くの改悪を押し付けています。「働き方改革」の名による大改悪を職場で具体化させないたたかいを強めましょう。労働者の命と健康を守り、人間らしく働き続けられる職場、社会に変えましょう。人間扱いしない長時間労働を解消させましょう。残業を厳格に規制するため、すべての職場で実効ある「36協定」締結を追求しましょう。

切実な要求を前進させ、人間らしい労働と生活、まともな国、社会に変えるため、私たちは団結して諸行動に総決起し、たたかいと両輪で組織の拡大強化に奮闘しようではありませんか。

大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会の実現、
安倍9条改憲と消費税増税阻止、
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓く19国民春闘。
全力でたたかきましょう！

2019年1月30日

2019年国民春闘勝利！1.30総決起集会